



第14回釧路地方協青年女性交流集会

実行委員会ニュース

第1号

2014年6月16日発行

第19回釧路地方協

青年女性交流会実行委員会



↑会場となる糠平館観光ホテル

源泉かけ流しのお風呂が高評価のホテルです。さらに施設から出て少し歩くと混浴露天風呂も！

釧路地方協

青年女性交流集会開催！！

そもそも地方協とは？

地方協交流集会とは、2年に一度、道内5つの地方協議会（札幌・函館・旭川・岩見沢・釧路）それぞれで開催される集会です。釧路地方協では、釧根・十勝・網走の道東3地本が結集し、職場の実態を話し合う中で、確定期間に向けた意思統一を図ります。今回の開催地本は十勝といことで、6月28日～29日にかけて、上士幌町の糠平館観光ホテルにて行いますーおいしい食事と温泉に癒されながら、交流を深めよう！

今回の地方協の獲得目標！

今回の獲得目標は、

『**給与制度の総合的見直し**』による影響及び問題点を学習し、『**給与制度の総合的見直し**』の**見直し**を目標として、**職場での運動へつなげよう**』です。

例年、釧路地方協では「合理化について」をテーマとしていましたが、今回は直近に迫った大きな問題である、『**給与制度の総合的見直し**』をとりあげ、集会の柱とします。

分散会では、職場に対する不満や怒りを共有するとともに、「給与制度の総合的見直し」についてどう思つか、何をすべきかを話し合いたいと思います。

そして、この集会で確認した内容を7月に開催される青年女性中央大交流集会に持ち込み、全国の仲間と議論や交流を図っていきます。

皆さん、たくさんのお仲間と一緒にしっかりと交流し学びましょう！

「給与制度の総合的見直し」について

人事院は、安部政権の要請に応じる形で、「給与制度の総合的見直し」を今年の人事院勤労生で勧告する準備を進めようとしています。この「給与制度の総合的見直し」とは、47都道府県のうち賃金水準の低い12県を基準として、全国の賃金水準を「2%台半ば」引き上げようとするものです。

その主な理由として人事院は、地域において官民の給与差があることをあげていますが、民間賃金の低い12県を抽出して官民比較を行うなど、人件費削減ありきの『**恣意的な**』比較方法をとっています。これは、人事院が本来の役割を忘れ、政府のいいなりになっていると思えません。

また、「給与体系の抜本的改革」を謳いながらも、政府および人事院は、「霞が関」で働く国家公務員や一部の都市部で働く地方公務員の賃金はむしろ引き上げようとしています。同じ仕事をしているにも関わらず、私たち地方で働く地方公務員の賃金は下がり、都市部の賃金は上がるという状況が作られようとしています。「給与制度の総合的見直し」によって引き下げの犠牲になるのは、地方で働く国家公務員、そして最大のターゲットは、『**地方公務員の人件費**』です。

こうした状況を踏まえ、道本部青年部からは各地本、単組総支部で、「賃金リーフ」の読み合わせや「給与制度の総合的見直し」賃金の下方平準化と格差拡大を許すな！実損額計算などの取り組みが提起されています。

今回の地方協では、給与制度の総合的見直しについて学習を深め、全体で反対の声を上げていきますよー！



↑釧根地本では、4月に道本部の瀧口青年部長をお招きし、給与制度の総合的見直しの学習会を開催しました。